

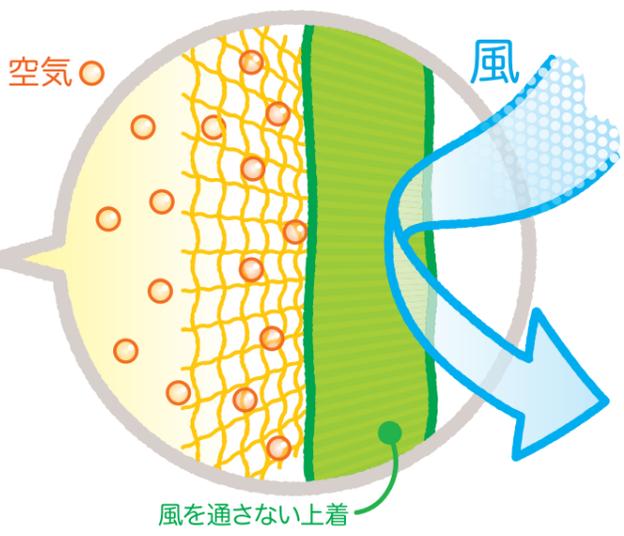
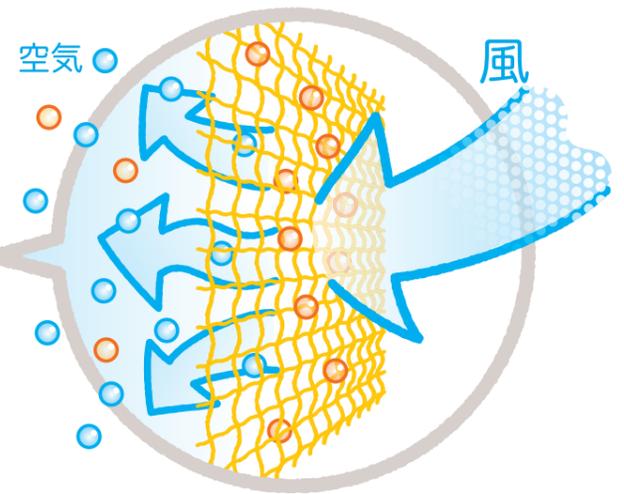
知れば知るほど見えてくる。  
もの知り「ウググラ博士」のちょっとしたおせっかい。

雪のちらつくような寒い季節も、蒸し暑い季節も  
いつも変わらず、  
ほっとするような空気が流れている家があります。  
外気の影響を受けない「高気密」「高断熱」の条件を満たせば、  
家の中はどこも暖かく、  
気持ち良く過ごすことができます——。

# 夏は涼しく、冬あつたか

# 「高気密」「高断熱」は、

# 快適な暮らしの大前提!



確かに。毛糸の中の空気が風で動くと、熱も一緒に奪われてしまっわけか。

その通り。だからセーターの上に風を通さない上着を羽織るので。原理としてはダウンジャケットと同じですね。空気をたくさん含んだダウンを、空気を通しにくい布で覆っわけです。

なるほど。暖めた空気を逃さない工夫が大切なんだね。

家も同じですよ。いくら断熱材をたくさん使って「Q値」が良い家を作っても、すき間だらけの家では意味がありません。気密性に優れた家かどうかを確かめるには、実際に「C値」を測定するしかないのです。もし、壁と床の継ぎ目や窓枠など、家の中にたくさんのすき間があれば、せっかく暖房で暖めた空気が、そこからどんどん出ていってしまいますし、反対に、夏は外の暑い空気が入ってくる。すき間の多

い家は、いつも冷暖房をフル稼働させていなければならぬのですよ。

でも、暑い夏にも断熱が必要だなんて、まだピンとこないなあ。

暖かい空気を逃がさないということは、冷たい空気も逃がさないのです。魔法瓶をイメージしてください。中に熱々のホットコーヒーを入れても冷たい麦茶を入

そろそろ冬の衣替えを始めないとなあ。マフラーと手袋、セーターやダウンジャケットも出さなきゃ。そついでには、昔の家は寒くって、よくこたつから動けなくなっていたっけ…。

あ、ウググラ博士！そんなんだよ。前に博士が教えてくれた「C値」や「Q値」というのも、この家を

建てた時にちゃんと出してもらったんだ。

家がどれだけ気密性に優れているかを表す「C値」と、外気からの断熱性を表す「Q値」ですね。これらの計測は法律で義務付けられていますが、間取りや施工で一軒一軒数値が異なります。まずは自分の家の数値が明らかになっていること、さらにその数値が良いことが、快適な家の条件と言えますね。

じゃあ、つちは安心だな。その「断

熱性」っていうのは、熱をどれだけ伝えなかってことだよな？ 確か、うちの家の断熱材には「グラスウール」が使われてるって聞いたけど。

「グラスウール」はガラスでできた断熱材です。ガラスがふわふわの繊維状になっていて、そこにたくさん空気が入っています。実は空気にはほとんど熱を伝えない性質があるのをご存じですか？ 動かさずにそこへ留めておきさえすれば、空気は熱の伝わりを遮断し、「高断熱」の家が実現します。みなさんが冬に着るセーターと同じ原理ですね。毛糸の中に空気がたっぷり入っているから、冷気が遮断されて暖かいのです。

断熱材は、家がセーターを着ているようなものなんだな。

そうですね。でも、それだけではだめなんです。もしセーターだけで、ぴゅうぴゅう北風が吹く中を歩いたらどうでしょう？ 寒いですよね。

れても、その温度は保たれますよね。高気密・高断熱の家では冷暖房が効率良く効くので、外がうだるように暑くても、家では心地良く、すがすがしい空気の中で過ごすことができます。そのためには、「換気」も欠かせません。室温を変えないように新しい空気だけを取り入れる、少し高度なシステムが必要になります。

そつすれば、部屋の中はいつも適温で、空気もおいしいというわけだね。

高気密・高断熱の家なら、真冬でも外の冷たい空気が入ってくることもなく、壁や床から冷えることもないので、窓際や足元から冷えたり、廊下やトイレが寒かったりすることはなくなります。また家自体がしっかり温度を保ってくれるので、夏でも冬でも冷暖房が効きやすく、むだなエネルギーも消費しません。まさに省エネで地球環境にも良い、エコな家と言えますね。

家中どこでも家族みんなで暖かく過ごすことができ、そのうえ地球にも優しいなんて、気持ち

のいい家だなあ。これくらいよいよ、この「高気密・高断熱」の家で過ごす、初めての冬だからね。どんなに快適か…楽しみだなあ。同僚を呼んで、雪の降る夜にとっておきの冷酒できゅっとやるなんていうのも、オツだね！

※北海道および一部寒冷地では別システムが採用されています。

一口に「高気密」「高断熱」と言っても、そのレベルは千差万別。スウェーデンハウスでは断熱材の厚みを十分にとり、気密を保つように家の隅々にまで気を配って、独自の厳しい基準で施工しています。C値測定は、ていねいに一棟一棟実施。今までの日本の住宅にない快適さを、宿泊体験で体感してください。…ところでウググラ博士、手に持っているものは何ですか？！